

大河原町

# 議会だより

第126号

平成25年2月1日



サッカー教室  
(第2光の子保育園)

議会報告会 .....	② ③
町政への提言 .....	④
議決責任の明確化 .....	⑮
議会改革さらに進化 .....	⑰
研修成果町づくりに反映 .....	⑰



# ございました

第1班	第2班	第3班
安藤征夫 佐々木守伸 半澤敏美 枘和也 岡崎隆	平間孝士 万波孝子 山崎剛 佐藤貴久 丸山勝利	佐藤巖 秋山昇 庄司充 松井美子 堀江一男
11月22日(木)	11月26日(月)	11月27日(火)
堤生活センター	台部集会所	金ヶ瀬東集会所
参加人数 9人 参加議員 5人	5人 5人	6人 5人
11月28日(水)	11月29日(木)	11月30日(金)
上川原集会所	本町集会所	東桜集会所
参加人数 11人 参加議員 5人	10人 5人	9人 5人
12月1日(土)		
幸中島集会所	見城前集会所	保料集会所
参加人数 8人 参加議員 5人	10人 5人	5人 5人

議会報告会  
73人が参加

※開始時刻はいずれも午後6時から



# ご提言ありがとうございました

## こんな事をしてほしい

### 1班



▲幸中島集会所

- ・議会報告会を開いても、人が集まらない。町民の期待が薄いと感じないか。
- ・立候補した時の公約で町民に示した事項の達成度はどう考えるのか。
- ・幸町は県道と接続する側溝に構造上の問題がある。県に改修を求めてほしい。
- ・デマンドタクシーの運行方法の見直し、利便性の改善を図ってほしい。
- ・堤防上の桜並木は遊歩道が整備されているが、枝が危険な高さである。

### 2班



▲本町集会所

- ・町立老人ホームを作るとなれば、人件費を含む予算はどこからでるのか。
- ・高校生まで医療費を無料と公約しているが、老人に厚くした方が良い。
- ・不法投棄に対する看板設置の対策をとってほしい。
- ・仙南クリーンセンターができるが、環境アセス調査はされているのか。
- ・南小学校の法面も除染してはどうか。さらに、上谷地区の山林の放射線量を調査してほしい。

### 3班

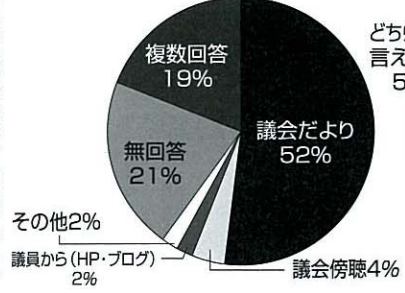


▲金ヶ瀬東集会所

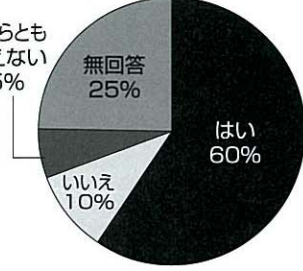
- ・報告会の開催が午後6時は早い。勤務している人が参加できない。
- ・一斉清掃時に側溝の汚泥上げができない。早く仮置き場を用意してほしい。
- ・事業評価をどのようにしているのか。第3者を入れて評価すべきである。
- ・世代交流プラザ設計の見直し、住民の意見をもつと取り入れてほしい。
- ・一目千本校の名勝とするなら、年に2回以上、手を加えるべきではないか。

### 主なアンケート調査報告

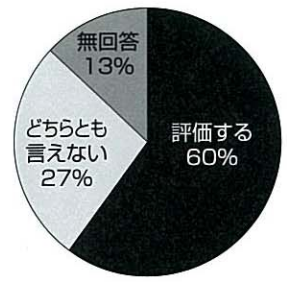
議会に関する情報は、どのような方法で知りますか？



次回開催される議会報告会にも参加したいと思われましたか？



議会報告会はどうでしたか？



今回の議会報告会の参加者は、73人、23年度と比べて、80人減という結果です。議員活動のあり方を見つめ直し、魅力ある報告会を提供できるように努力していきます。



## 一般質問

町政への提言  
Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回10人の議員が行った。

## 堀江一男 議員 ..... P⑤

- 町長公約どう取り組む
- 特色ある教育、学校づくりを

## 庄司 充 議員 ..... P⑥

- 町長に聴く。(仮)世代交流プラザと老人ホーム建設

## 万波孝子 議員 ..... P⑦

- 伊勢町長に聞く。町政運営の基本的な政治姿勢は
- 高齢者世帯が急増。一層の見守り強化を
- 放射能汚染子ども、妊婦等の健康調査の実施を

## 半澤敏美 議員 ..... P⑧

- 高齢者の交通安全対策への取り組みはどうあるべきか

## 佐藤貴久 議員 ..... P⑨

- これでいいのか、教育環境のステップアップを図る

## 佐々木守伸 議員 ..... P⑩

- 産業の振興と地域の活性化の具体策は
- 町議会議員の報酬の今後の方向はどうあるのか(掲載外)

## 柘 和也 議員 ..... P⑪

- デマンド型乗合タクシーの運行状況はどうなのか
- みやぎ県南中核病院企業団規約と腫瘍センター建設整備事業

## 丸山勝利 議員 ..... P⑫

- 新町長の考える町政とは何なのか

## 松井美子 議員 ..... P⑬

- 学校給食センターは独自設置をすべき
- (仮)世代交流プラザに健康増進機能を(掲載外)
- 町立老人ホーム等の具体的内容は(掲載外)

## 岡崎 隆 議員 ..... P⑭

- たゆまざる行財政改革による公約の実現に向けて







堀江一男 議員

## 町長公約どう取り組む

**問** 公約は守る事が基本であるが、町長に就任する前と就任したことにより、町の財政と長期総合計画との整合性等についてとまどいの部分があったのではないかと。その事によつて時期の変更や、公約の縮小も、やむを得ないものもでてくるのではないかと、思われるがどうか。

**答** 公約の中ですぐ実施できるものとして「道の駅計画」については、就任日に撤回宣言をした。特別職の給与カットについては、今議会に条例改正を提案している。18歳までの医療費無料化については、4月から

12歳まで引き上げることになっているので、その実績を踏まえたうえで、町の財政状況を見極めていきたい。町立老人ホームの整備については、入所待機者の解消に向けた取り組みとして考へたものであり、町民が望む安心で質の高い介護サービス提供を目指し、今後、検討委員会等の組織を立ち上げ、町立民営方式を中心に検討する。

### 特色ある教育、学校づくりを

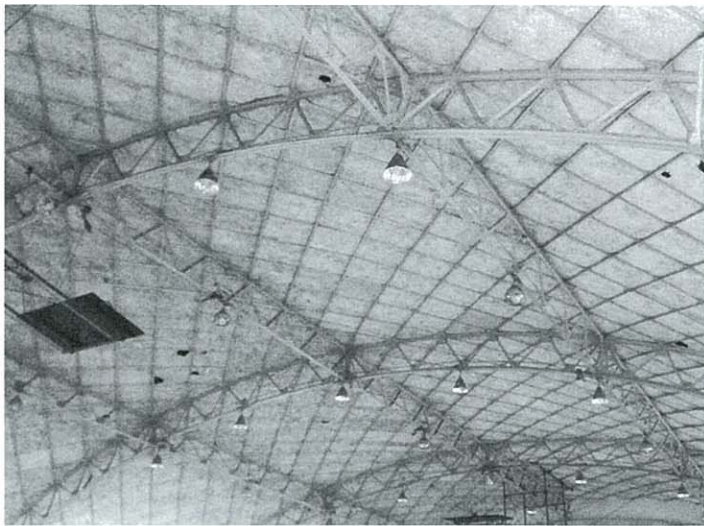
**問** 新教育長に考えを問う。今後、特色ある学校づくりを行う考えはないか。

**答** 特色ある学校運営について第一に、児童生徒の確かな学力を育成したい。第二に、言語教育環境を充実させたい。第三に、高等教育機関の活用を図りたい。

**問** 大河原中学校体育館の天井が穴だらけであるので修理を早急にすべきと思うが、その考えはないか。

**答** 大河原中学校体育館の天井に穴が10数カ所あいている状況なので、新年度において修理したい。

### 一般質問



▲大河原中学校体育館

早くきれいな天井に

ちょっと  
ひとこと



# 町長に聴く世代交流プラザと老人ホーム建設



庄司 充 議員

## 一般質問

**問** 私は前から大河原町子育て支援センターの充実に強い関心を持ち活動してきました。子育て支援センターは平成18年旧労働福祉会館跡の建物内で多くの町民から親しまれ活用されていた。平成23年オーガの中に移転され現在に至る。前町長の総合計画に旧町立病院跡地・第二光の子保育園隣に(仮)世代交流プラザを建設し、その中に子育て支援センターを設置する予定だったが、伊勢町長には(仮)世代交流プラザ継続計画実施の考えはありますか。

**答** (仮)大河原町世代交流プラザ及び内部に設置する

「子育て支援センター」等につきましまして、町の長期総合計画(経営計画)に基づき、大河原町の児童数、子育て環境の現状及び将来推計により計画的に進

めてきたものです。また地域住民との4回の意見交換会により、いただいた意見を計画に組入れ、規模も拡大し、現在、実施計画を行っているところとす。私も、この施設整備につきましまして、大河原の子育て支援並びに地域の健康教室・ミニデイサービス等の健康増進



▲(仮)世代交流プラザ建設予定地

事業を展開することによる、世代を超えた交流拠点として必要な施設であると考えていることから、計画どおり平成25年度建設、平成26年度オープンを目指し進めていく。

**問** 老人ホーム整備の目的と概要はどのようになっていますか。

**答** 入所待機者の早急解消を第一に適切で安心できる介護サービスの提供に努め中期実現で検討します。

公約イコール即実行

ちょっとひとこと





万波孝子 議員

# 伊勢町長に聴く 町政運営の基本的な 政治姿勢はどうあるか

町民は「町民が主人公」の町づくりには、どういう姿勢で臨むのか、大きな期待と関心を寄せ手腕の発揮に注目している。



▲気軽に声がけ

**問** 町民の声が届く町政実現の具体的な内容は。

**答** 町民は今何を望んでいるのか、どんなことで困っているのか、新年度は町民満足度調査を予定している。住民懇談会や町立老人ホームについての意見を公募する等の方法で、町民の声を反映したい。

**問** 町職員との信頼関係は大事であり、職員のノウハウが十分発揮できるよう、ミーティング等具体的にどう取り組んでいくのか。

**答** 役場は町内最大のシンクタンクであり、町の大切な財産である。政策調整会議等で十分議論を尽くすとともに、職員個々人との十分な話し合い等も心がける。

**問** 消費税増税、放射能汚染、PPP等、国政県政が町政や町民生活に悪影響を及ぼす時は、防波堤としてこれらにどう立ち向うのか。

**答** 消費増税、放射能汚染、PPP等、国政県政が町政や町民生活に悪影響を及ぼす時は、防波堤としてこれらにどう立ち向うのか。

## 高齢者世帯が急増。二層の見守り強化を

ひとり暮らし高齢者等の「孤独死」が社会問題になっている。他人事ではないところまでできている。

**答** 積極的に進めていく。

**問** 「孤独死ゼロ作戦から学ぶ地域福祉の在り方」(松戸市)について学ぶ講演会を検討できないか。

**答** 開催する時は検討したい。

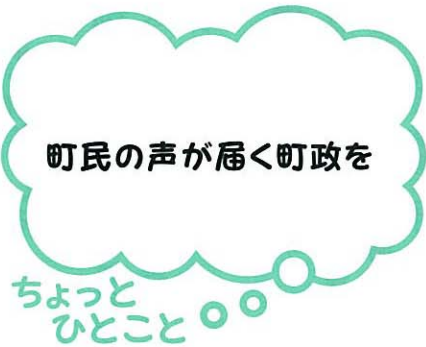
**問** みやぎ生協の宅配や新聞販売店、郵便局の協力も得て一層の安全確認や孤独死防止に取り組んでは。

## 放射能汚染子ども・妊婦等の健康調査の実施を

**問** 内部被曝の影響が心配されている。健康調査を望む。

**答** 予算が確保できれば臨時議会を開いてでも対応する。

### 一般質問





# 高齢者の交通安全対策への 取り組みはどうあるべきか



半澤敏美 議員

高齢者が自動車の運転免許を自主返納する動きが広がっている。返納者に交付される「運転経歴証明書」の有効期限が平成24年4月から無期限になったこともあり、4月から返納者数は前年同期の3倍に急増しております。自治体や企業も免許返納者向けの割引サービスを用意するなどして後押し、県内の65歳以上の事故件数は、10年前で1087件、その後年々増加し、2007年に1400件を突破した。運転免許の自主返納制度は高齢運転者の事故を減らす目的として、身分証として使える運転経歴証明書が交付される。平成

## 一般質問

24年4月からは有効期限が6カ月から無期限となった。有効期限が無くなったことに加え、住所変更や再交付もできるようになり、利用価値が高まったことが大きい。免許返納が広がる背景には、自治体や企業の取り組みもある。

**問** 高齢者の今後の交通安全対策は。

**答** 町では現在第九次大河原町交通安全計画を策定し交通安全対策に取り組んでいます。高齢者への交通安全



▲仙南運転免許センター

施策として、自転車安全利用の広報啓発の推進、LEDライトや反射材等の啓発品の配布、交通安全母の会による高齢者世帯への訪問事業や、運転免許を自主返納した方にデマンドタクシー利用券を進呈するなど、高齢運転者による交通事故を一件でも減少させるよう

施策を講じている。

**問** 運転経歴証明書で受けられるサービス等は考えているのか。

**答** 現在のところサービスはありませんが、今後警察署や商工会等とも協議を行い、運転経歴証明書でのサービスを考えていきます。



交通安全の町に

ちょっとひとこと





佐藤貴久 議員

# これでいいのか、教育環境のステップアップを図る

**問** 続発する児童つれざり事件に対応するトレーニング内容とは何か。



▲金ヶ瀬中学校志教育

回のアンケート調査や子どもの悩みを受けとめる相談体制を充実させる。教育委

**答** 「どの子どもにも、どの学校にも起こりえる」とことを認識し、月1

**問** いじめ行為はなくならない。防止対策はあるのか。緊急調査の結果を公表してはどうか。

**答** 子どもたちの意見をとりいれて、防犯訓練を実施していきたい。GPS機能搭載の携帯電話を検討する。

員会、学校現場の危機意識を高める。

**問** 24年度の外国語指導助手はJETと業務委託の二本立てであるが、次年度の方向性はどうか。

**答** 人材の安定確保の観点から、24年度と同じ体制で、英語教育の充実を図る。

**問** 育英基金の業務方法書の見直しは図ったのか。また周知はどのように実施されているのか。

**答** 育英基金の情報発信をきめ細やかに行います。貸与条件の見直し、社会環境の変化に適応した制度構築を図ります。

**問** 前期選抜学力検査の対応、準備は万全か、どのような課題があるのか。

**答** 英検、漢検の検定資格試験に助成するか検討する。進路情報の提供、進路指導

を丁寧に進めていく。

**問** 23年度の公立高校入学状況より、進路指導、学習計画に問題点、改善点には、何があったのか。

**答** 学力定着の低い子どもたちの学習指導が行き届くように対処する。低学歴が、自立の障害にならないように学習支援を積極的に図る。

※ミニ知識  
JETとは、外国語指導助手招致事業

こころの教育が、学力向上のキーポイントです  
ちょっとひとこと



# 産業の振興と地域の活性化の具体策は



佐々木守伸 議員

## 一般質問

**問** 現時点での平成の合併の評価と、その後の町振興に与えた影響はどうか。

**答** 町産業の振興と活性化はその効果が具体的に見えにくい。観光資源の掘り起こし、産業振興などと議論はあるが、具体的な振興策にはなっていない。

**問** 平成の合併についての現在の評価はどうか。

**答** 総務省公表では、多くの合併市町村の行政、住民、世論の合併についての効果と課題は大きく分かれ、評価は時間がかかるのではないかとされている。

**問** 広域の問題が山積しており、他市町との連携を図りながら、広域政策連合に向けた取り組みを進めたい。

**答** 経済格差、失業率等の所得格差を是認しての地域の活性化対策は何なのか。

**問** 大都市と本町及び県南地域の経済格差についての認識は、現金給与総額では、宮城県は東京との比較ではおよそ70%、全国平均と比較すると90%となっている。

**答** 本町はインフラが整備されており、地域らしさを活かしていけば地域格差を埋めることができる。

**問** 町行政として町民の信頼は地方自治の基本的課題である。町の方針に対しての具体的な信頼策は何か。

**答** 町民の信頼がなければ、少子化と高齢化が同時進行している時代での行政運営は成り立たない。これまでも同様に第五次長期総合計画の基本理念で、自主防災組織などの参加・参画・協働の仕組みづくりを通して、町民からの信頼確保に努める。

**問** 町は財政上極めて深刻である。自主財源の確保にどう努力するのか。

**答** 財政健全化判断比率は改善しているが、経常収支比率は依然として高い。今後も厳しい財政状況は続くと思われている。自主財源



▲ハローワーク大河原

の要である町税の確保に努めるとともに、産業振興、福祉や環境等の政策に取組み、税収増になる事業を展開したい。

財政の確立から  
財政面でも  
地方自治を守ろう

ちょっと  
ひとこと





柘 和也 議員

# デマンド型乗合タクシーの 運行状況はどうなのか

交通弱者の身近な足の確保という趣旨で、公共交通のデマンド型乗合いタクシーが7月より運行開始され4カ月が過ぎるが以下尋ねる。



▲デマンドタクシー

**問** これまでの利用状況はどうであったのか。

**答** 1日当たりの利用者の平均は、7月53人、8月64人、9月79人、10月85人、11月83人で述べ7731人となっている。

**問** 利用者からの声(良かったこと、悪かったこと)はどういったものがあつたのか。

**答** 良かったこと「低料金のため出掛ける場所が増えた」「乗り合いにより友達が増えた」「乗ってきた」「等、一方では「いつ来るのか分からないので不安」「待ち時間が長い」「ルールを守らない人がいる」等の声があつた。

**問** ジャンボタクシーぐらいの大ききで、定期的な時間で行けることも併用して、試験的に運行してみる考えはないか。

**答** 利用者を増やす前向きな意見なので今後検討する。

## みやぎ県南中核病院企業団規約と 腫瘍センター建設整備事業

中核病院腫瘍センター整備の負担割合の適用については、前町長は「規約の変更には当たらない。」とのことでしたが、理解しがたいので以下聞きたい。

**答** 新たな建設整備とする規約の変更を行い、構成市町の議決を得るべきであったと思うが、今回は、適応した負担割合が妥当であると判断され確認したものと考える。

**問** 確約書が、必要な負担割合の適用であるならば、本来は規約を変更して、構成市町の議決を得るべきであったと思うがどうか。

### 一般質問

当町にベストマッチの  
公共交通になってほしいな

ちょっと  
ひとこと



# 新町長の考える 町政とは何なのか



丸山勝利 議員

## 一般質問

**問** 道の駅に関して賛成か

反対かばかりが論じられ、中身に関しては論じられないこととなく、産業振興の大きな可能性を秘めた道の駅が単なる政争の具として扱われた。また（仮称）道の駅をおがわら整備基本構想が平成20年3月に作られ、また平成21年12月に基本計画が作られた。基本構想と基本計画の策定に約1200万円、税金が掛かっているが、その中身について議論がされていない。約1200万円かけたのに無駄にしているのではないか。基本計画などを踏まえてこの大河原町の産業振興には何が必要なのか、議論すべきではないのか。

ないのか。

**答** 道の駅はほとんどが赤字なので

産業振興にはつながらない。約1200万円の税金は無駄になるが、選挙公約なので計画を撤回した。

**問** 町長の選挙公約のなか

で、緊急（1年以内）高校卒業まで医療費無料化を掲げ当選したのに、平成25年4月から「小学校卒業までの医療費無料化」になるの、その実績を踏まえて町の財政状況を見ながら段階的に考えるとあつたが、1年



▲国道4号金ヶ瀬地区

**答** 町民の安全安心のため、健康調査の実施など考えたい。

**問** 仙南広域の問題で角田市に建設されるクリーンセンターの問題がある。なにかあつた場合迷惑を被るのは大河原町ではないか、安全を担保するための対策をどう考えるか。

以内ではないのではないか。選挙公約をもう破るのか。また個人町民税5%削減は実行可能なのか。

**答** 政権の状況や予想しなかつた財政需要もあつたので、状況を見ながら前に進む。

政治不信を  
招かないために  
公約を守りましょう

ちょっと  
ひとこと





松井美子 議員

# 学校給食センターは 独自設置をすべき

8月3日、学校給食センターの3町（柴田町、村田町、大河原町）の共同設置



▲学校給食センター

について協議を行うと説明された。以来4カ月、新町長に考えを問う。

**問** 学校給食と給食センターについて基本的考え方は。

**答** 学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資するもの。食育、給食活用の指導を通し、食に関する正しい知識と理解を養う役割を果たす。給食センターは衛生的で調理機能等の充実が大切。

**問** 一日7000食供給の大規模給食センターありきでの共同設置先行の事態の受け止めは。

**答** 少子高齢化の社会情勢を考え、今後の児童生徒数の減少、設置や運営に関する費用面を考慮すれば共同設置は公約の「広域政策連合」対策の一つとしてふさわしいと考える。

**問** 三町協議の到達現状は。

**答** 協議、研修会を行っているが、設置方法、規模、設置年度、課題など検討中。

**問** 児童、生徒不在の進め方でよいのか。

**答** 協議が整えば結果に基づき保護者へ説明する。

**問** 修繕対応で5年間は大丈夫と判断しているのだから、将来を見すえ町単独の給食センター設置に舵をき

るべきでないか。

**答** 少子高齢化等の社会情勢、望ましい学校給食センターの姿、財政的問題などを考慮し、三町共同設置も考慮しながら検討すべき問題だと考えている。

広域化、大規模化は町民の本当の要求でしょうか

ちょっとひとこと



# たゆまざる 行政改革による 公約の実現に向けて



岡崎 隆 議員

## 一般質問

10月28日、伊勢新町長が誕生した。町民の声が届く町政をスローガンに掲げ、

住民活動と連動し多くの町民の共感を得た結果である。一方、掲げる多くの公約実現には財政面での大きな改革も必要である。「希望を持って暮らせる福祉のまち大河原」実現に向けて具体的な道筋を町民にお示しすることが最優先であると考え。

**問** 定員適正化計画に基づいた人員配置はどうか。嘱託職員、臨時職員等、任期制待遇が分かりにくい職員をきつちり把握すべき。

**答** 嘱託職員が増加しており今後の検討課題とする。

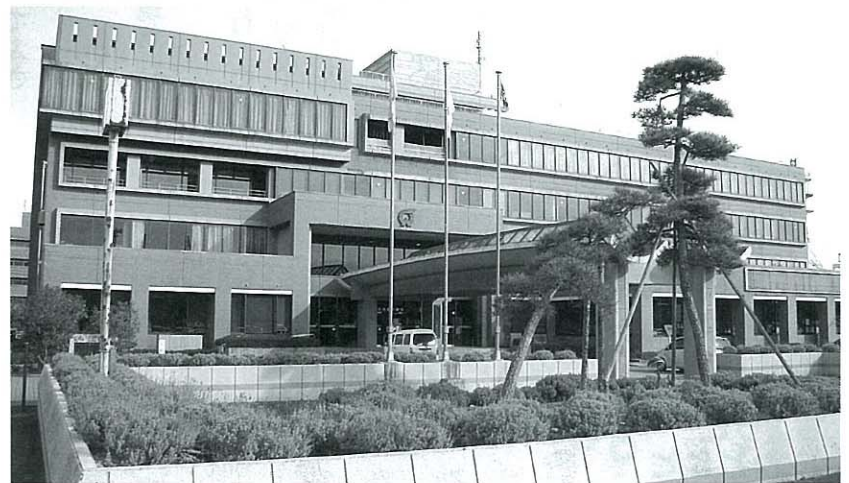
**問** 個人町民税5%減税はどうか。国の復興財源確保法の閣議決定を受けて国民全体が被災地支援の増税を強いられる。被災地として支援を受ける当町の立場を考えると、対外的な配慮として減税分に相当する金額を年度ごとに基金として積み、恩恵のあつてふさわしい町民に返還するやり方が妥当ではないか。自治体は現在いわば国の下請けであるから今後「減税」等の公約は慎むべき。

**答** 指摘のとおり減税ではなく別の方法で町民に減税相当分を返還する方法も前向きに検討する。結論はまだである。

**問** 18歳までの医療費無料化は町民の望む大きな公約の一つ。実現の時期はいつか。

**答** 町立老人ホーム建設と並ぶ私の大きな公約の一つであり、遅くとも来年度には議会に諮り、早い実現を目指す。

公約実現は  
一丁目一番地  
ちょっと  
ひとこと



▲大河原町役場



議決責任の明確化

件名	議決月日	議員別表決結果一覧														
		岡崎隆	丸山勝利	堀江一男	枘和也	佐藤貴久	山崎剛	半澤敏美	松井美子	庄司充	佐々木守伸	万波孝子	秋山昇	安藤征夫	平岡孝士	佐藤巖
土地の取得(宮城県醤油醸造協同組合)	12/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
土地の取得(宮城県味噌醤油工業協同組合)	12/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
暴力団排除条例の一部改正	12/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
町長等の給与に関する条例の一部改正	12/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	12/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部改正	12/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
元気な大河原っ子医療費助成に関する条例の一部改正	12/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の制定	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
障害者通所援護施設条例の一部改正	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
町営住宅条例の一部改正	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
仙南地域広域行政事務組合規約の変更	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度一般会計補正予算(第4号)	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結(町道西幹線道路災害復旧工事)	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議会委員会条例の一部改正	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議会広報の発行に関する条例の一部改正	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
政務調査費の交付に関する条例の一部改正	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
専決処分事項の指定	12/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 議:議長なので表決に加わらず

※前号の表決結果9/22の安藤征夫議員の「欠」は県後期高齢者広域連合議会(議会代表)への出席によるものです。

放射線から住民を守る  
特別委員会中間報告(第3回)

当委員会は、平成23年3月の福島第一原子力発電所事故による放射能被曝を踏まえ、放射線から住民の健康と生活環境を守るため設置され、現在まで7回の委員会を開催しており、今回9月以降に開催した委員会の中間報告を致します。

10月24日に実施計画に基づく除染作業の結果と課題について、執行部の説明を受け、実際に除染作業を行った南小学校と上谷公園の現地視察を行いました。

除染作業は10月15日で全て終了しており、除染後の線量は、地上50cm、5cmともに平均で0.10μSvと、除染作業を行ったことにより線量が低下しています。

今後の対応として、空間放射線量については、現在の個所に加えて通学路等の調査も行う。学校・保育所等給食食材及び持ち込みによる食品等検査の継続。仮置き場については、関係機関と協議をしながら、安全性を最大限確保し、早急な

対応に取り組み。など細部にわたって意見交換を行うとともに、田畑土壌の放射線量測定継続や側溝土砂等の保管場所の選定等について提言を行っています。

また、東京電力に対し被害への対応を求める意見書について提案していくことで確認しています。

今後も引き続き調査を継続し、住民が安心して生活が送れるように議会として執行部に反映されるように提言を行ってまいります。



▲大河原南小学校



# 議会改革をさらに進化 133位と大幅に躍進

## 開かれた議会づくり 調査特別委員会報告

当町の議会改革度は、平成22年は全国で1098位にランクされたところです。その後各種改革を重ね平成24年では133位と大幅にアップしました。

### 主な改革項目

- ①議会報告会の開催
- ②委員会も中継しオンデマンド配信する
- ③正副議長選挙は所信表明(希望者)する
- ④議案の賛否を議会日より、ホームページに掲載する

### 議会内部

- ①広報委員会は特別委員会に位置づけする
- ②1年間の試行を踏まえ「会期延長方式」による通年議会の実施
- ③委員会での議員問討議を積極的にを行う
- ④議長は特別の公務がなければ全ての会議に出席する

### 執行部への要望

- ①子ども議会の開催



▲議員全員による最終協議

- ②できるだけ議会を開き、専決処分を少なくする
- ③所管事務調査等に対してのその後の対応を文書で回答すること
- ④予算については、事前説明会を実施すること
- ⑤一般質問の回答書は、質問当日冒頭に質問議員に配布されたい  
今後「議会基本条例」制定に向けて活動を継続していきます。

## 皆さんの声 お届けします

**東京電力**  
福島第一原子力発電所の事故による被害への対応を  
求める意見書

- ①健康影響調査の実施。
- ②子どもたちの健康影響調査の実施。
- ③給食食材の安全安心な流通確保。
- ④放射性物質を含む稲わら、牧草、堆肥汚染に対応すること。
- ⑤本県の損害を賠償の対象と明示する。放射性物質の測定、除染は国が負担する。

### 県の乳幼児医療費助成制度の 拡充を求める意見書

宮城県の制度は、通院2歳まで、入院就学前までである。子どもを安心して産み育てる社会の実現を目指すには、地方制度の安定化が必要であり、県の支援が不可欠である。県におかれましては表記の拡充を強く要望する。

### 一般会計

#### 主な補正予算

#### 収入

- 障害者福祉費国県負担金 2445万円
- 保育児童保護者負担金・保育所運営費国県負担金 1457万円
- 教育費寄付金 150万円
- 特別会計繰入金(後期高齢・国保・下水道) 1161万円
- 繰越金 4795万円
- 新たな難視対策事業費補助金 392万円

#### 支出

- 地上デジタルテレビ難視対策補助 392万円
- 障害福祉関連扶助費 4600万円
- 保育所運営費委託料 1066万円
- 道路維持・改良工事 1095万円
- 公園施設改修工事 220万円
- 公共下水道事業特会繰出金 1801万円
- 小中学校図書購入費 150万円
- 金小バリアフリー対策工事 150万円



# 研修成果 町づくりに反映します

## 総務文教常任委員会

### 障害者福祉の現状

横浜市の生活介護事業所「朋」では、障害者（重度）福祉施策の視察を行った。1986年に日本で初めての重度心身障害児者の通所施設として開所。93年には2階を改築し、診療所を開設している。診療所は利用者とその家族だけでなく、一般外来も受ける。

### 滞納整理の課題

茨城県水戸市にある租税債権管理機構は一部事務組合として設立され、現在職員数は42名。茨城県は1700万円を助成している。平成23年8月現在処理件数1320件。滞納者に悪質も良質もない。



▲生活介護事業所「朋」(横浜市)

## 産業建設常任委員会

### 新エネルギーの利活用

葛巻町では1993年3月に葛巻町新エネルギービジョンを策定し、基本理念「天と地と人のめぐみを生かして」(天のめぐみ風太陽光熱地のめぐみ、畜産ふん尿森林、水・人のめぐみ豊かな風土、文化を守り育てた)のもと新エネプロジェクトを推進している。

### 災害時の後方支援活動

遠野市は内陸と沿岸の中間に位置し、半径50km圏内に沿岸まで包括している。平成23年3月11日の大震災では訓練が功を奏し、後方支援活動が速やかに展開された。震災前より大規模な訓練を行っており、後方支援を始めることができた。



▲くずまき高原(岩手県葛巻町)

## 多賀城市議会

### 広報特別委員会来庁

11月29日午前、多賀城市議会広報特別委員会、米澤まさこ委員長以下4名、計5名の委員の皆様が研修に来庁されました。私ども大河原町議会広報委員会は、6名の全委員が出席し、庁舎4階の委員会室にて研修をお受けいただきました。

恥ずかしながら研修に行くことはあっても、研修に来ていただくことは初めてのことであり、お役にたてるかとても不安でありました。

わかりやすく住民に紙面で伝えることができるかという、同じゴールを目指す編集委員の仲間として、親睦も深め合えたとても良い機会でした。また、相手に教えるということは、自らもさらに学ぶことにもつながり、今後の大河原町議会広報編集委員会の活動を、さらに充実したものにするため、頑張つてまいります。

さて、委員の紹介も終わり、研修が始まってみるととても気さくに、わからないこと、今後改善が望ましい箇所等意見の交換、本音のアドバイス、お互いの広報編集を通しての苦労話等、終了予定時間を3分過ぎてでも終わらず、熱の入った楽しい研修となりました。どうしたら議会を



▲多賀城市議会広報特別委員会



# こんな町に住みたいな



大河原小学校  
遠藤 碧



大河原小学校  
高橋 怜那

ぼくが住んでいる大河原町は、仙南の中央に位置している。大きな病院やスーパーなどいろいろなお店があり、とても便利です。その他にも、自転車や歩行者の専用道路などがあって、住みやすい町です。

これからの大河原町は、これまで以上に美しく安全で、子どももお年寄りも安心して過ごせる町になってほしいと思います。

そのために、ぼくたちにできることは積極的にやっています。ごみ拾いをしたり、ぼ金などに協力したりして、少しでも大河原町をよりよくしていきたいと思っています。そして、ぼくたちが大人になったときに、大河原町に住んでよかったです。と思っています。

私の住む大河原町は桜だがある。人々の思いやりがある。歩いていくと人々が町を歩いていると人々が明るいあいさつを交わしてくれます。登下校中も私達が安全に登下校できるような、見守り隊の方々が優しく声をかけてくれます。また、町内清掃では、近所の人達で声をかけ合いながら、道路のすみずみまできれいにしています。それ以外の時期でも、桜並木の土手でごみ拾いをする人々の姿も見ることがあります。

そんな方々の思いやりや努力があるから町がすてきになったのだと思います。私も大河原っ子として、近所の方や友達への明るいあいさつを進んで行っていきます。そしていつか「笑顔と思いやりのあふれる大河原町」と言われるようにしたいです。

**3月議会のお知らせ** 議会を傍聴しませんか  
**招集日 3月1日(金)・再開日 3月7日(木)**  
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

# 町村議会広報研修



去る12月6日、「議会広報研究会」が仙台で開催され、「議会広報に求められるものは」というテーマで学んできました。「ありのままに、わかりやすく、住民とともに」を基本に、丁寧な「深沢徹」氏の講義は有意義でした。後半、わが町の議会だよりがクリニックを受けた際に、思わぬ高評価を受け、今後、全国入賞を目指す自信となりました。

## 街かど ワンショット

上がれ～  
 1月6日、白石川右岸河川敷公園で駅前商店街主催「手作り凧揚げ大会」が開催されました。記念すべき第30回目を迎えた今年度の大会に町内外を問わず多くの参加者が自慢の手作りやつこ凧、連凧、角凧、ビニール凧を持ち寄り本年の願いを込めて大空高く凧揚げを楽しんでおりました。主催者、お世話役の皆様本当にお疲れ様でした。

# 編集後記

めつきり寒さが厳しくなり、凍える中での編集作業となりました。去る11月下旬に開催された議会報告会について今回掲載させていただきます。ただきでしたが、様々な町民の皆様からの提言、想いを今後の議会でも反映させなければ、という責任をあらためて痛感する機会でありました。足を運んでいただいた皆様には感謝するとともに町民に見える議会活動、一人でも多くの皆様に読んでいただけるわかりやすい紙面づくりにも工夫して取り組んでまいります。

(岡崎 隆)

**編集発行責任者** 議長 佐藤 巖

**議会広報編集委員**

委員長	岡崎 隆
副委員長	半澤 敏美
委員	佐藤 貴久
委員	山崎 孝剛
委員	平間 孝士
委員	安藤 征夫